

# 青森県海区だより

(発行 2007年5月31日 第14号)

〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県海区漁業調整委員会事務局  
TEL 017-734-9851  
FAX 017-734-8166  
e-mail Kaiku@pref.aomori.lg.jp  
HP http://www.pref.aomori.lg.jp/kaiku/



## 全国海区漁業調整委員会通常総会開催



(本県から出席した西部海区の富田委員、福井委員、  
東部海区の川口会長、松本会長代理)

5月9日、東京の虎の門パストラルで開催された平成19年度全国海区漁業調整委員会通常総会が開催され、本県から4名の海区委員と事務局の尾坂局長と出町主幹が出席しました。総会では、青森県から6名の委員が一般表彰を受けました。上の写真は、表彰を受けた4名の委員です。都合で出席できなかった西部海区の堀内委員、東部海区の上野委員には、先日、全漁調連からお預かりした表彰状と記念品を事務局からお渡ししました。

今後ともご活躍を祈念します。

総会では、全国海区漁業調整委員会連合会安藤会長の挨拶の後、参議院加治屋農林水産委員長、自由民主党水産総合調査会竹山会長、水産庁中前次長、全漁連道下次長の来賓挨拶がありました。この後、議事に入り第1号議案(全国海区漁業調整委員会連合会会則の一部改正)第2号議案(平成18年度事業報告書案及び収支決算書案の承認)第3号議案(平成19年度事業計画書案及び収支予算書案の承認)第4号議案協議事項(沿岸漁業と沖合(指定)漁業の調整について、外国漁船問題について、罰則規定強化のための漁業法等の改正について、漁業調整委員会制度の堅持及び財政基盤の確保について、漁業と遊漁の調整について)の説明があり、5件とも原案どおり承認され、関係各省庁に要望することになりました。

第5号議案(次期総会開催地について(東京開催))

この後、東日本、日本海、西日本、九州ブロックの順に全国から表彰者92名が表彰状を授与されました。また、全漁調連会長の後退の報告があり、新会長には、東京海区の竹内会長が就任しました。事務局は、三重海区事務局が引き継ぐことになりました。

ひんようじゅく

## 漁業後継者育成のための『賓陽塾』開講



(写真提供:増養殖研究所)

5月14日、平内町の県水産総合研究センター増養殖研究所において、16人の受講者と長谷川出納長他県及び漁業関係者が参集して、『賓陽塾』の開講式を行いました。

今後、漁業後継者育成のための講義、漁業実習等を通じて研鑽を積むこととなります。

## 全国内水面漁場管理委員会通常総会開催



5月25日、東京の都道府県会館で平成19年度全国内水面漁場管理委員会通常総会が開催され、本県からは沼邊会長と事務局の横岡次長が出席しました。総会では、大澤会長の挨拶の後、水産庁宮原課長、環境省猪島室長、国土交通省小俣調整官、林野庁平野室長、全内漁連橋本専務理事の来賓挨拶がありました。この後、議事に入り

第1号議案 平成18年度事業報告、収支決算案及び剰余金処分案について

第2号議案 平成19年度事業計画案及び収支予算案について

第3号議案 会則の一部改正について

(会員の負担金引き下げについて 年額18万円 16万円)

第4号議案 平成19年度提案書案(外来魚対策について、魚病の防疫対策の確立について、鳥類による食害対策について、漁場環境の保全及び啓発について)の説明があり、4件とも原案どおり承認されました。

おいっpegawa

## 東通村老部川においてサクラマス放流

5月23日、太平洋の東通村老部川内水面漁協のサクラマスふ化場前において、老部川内水面漁協主催により、周辺の沿岸漁協、東通村、県等の関係者が集まり、サクラマス幼魚の放流式が行われました。



(写真提供:むつ水産事務所)

## 6月のスケジュール

- 6月5日、6日 全漁調連局長会議(東京都)
- 6月8日 県漁業監視団連合会通常総会(青森市)
- 6月12日 西部海区漁業調整委員会開催(青森市)

## 海区事務局からのご挨拶

青森県の水産業は、全国でもトップクラスにあり、高い水産自給率を誇っています。東部海区、西部海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会の3つの委員会を通じて漁業関係者との円滑な漁業調整と合意形成により、漁業秩序の維持、適切な資源管理を行っていく必要があります。青森県の魅力ある水産振興と一次産業の活性化に寄与したいと考えています。どうぞ、よろしくご支援をお願いします。



(左から尾坂局長、横岡次長、佐藤主査、出町主幹)